



2021年10月15日

各位

上場会社名 株式会社アイケイ
代表者 代表取締役会長兼CEO 飯田 裕
(コード番号 2722 東証・名証 第一部)
問合せ先責任者 常務取締役管理統括 高橋伸宜
(TEL 052-856-3101)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月期第1四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2021年7月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失について

①顧客補償等対応費用引当金繰入額について

前連結会計年度において、「スピードヒート（温熱ベスト）」の初期モデルに使用していましたがリチウムイオン電池バッテリーが膨張・発火する事故が数件発生していた事象に関連し、当社の連結子会社であります株式会社プライムダイレクトでは不具合が発生する可能性のある現物について無償交換することとし、その対応を実施いたしました。

その後、リチウムイオン電池を使用している他社の製品に関して、当第1四半期連結会計期間において、事故の注意喚起、報道などがなされたことを踏まえ、お客様の安心・安全の確保の観点から、当社グループとしては、お客様のお手元にある初期モデルの全品について自主的に回収し、無償交換させていただく方針を決定しました。この新たな方針に基づき、対象商品ご購入のお客様さまへご連絡を実施いたしました。

その交換費用等としての見積額95,523千円を顧客補償等対応費用引当金繰入額として特別損失に計上することといたしました。

②固定資産除却損

ダイレクトマーケティング事業のTVショッピング用映像のうち、放映見込みのない映像の残存簿価844千円を計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

①2022年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年6月1日～2021年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	10,400	390	380	230	29.34
今回修正 (B)	8,670	△95	△84	△171	△21.81
増減額 (B-A)	△1,730	△485	△464	△401	
増減率 (%)	△16.6	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年5月期第2四半期)	11,091	534	534	323	44.54

(修正の理由)

2022年5月期第1四半期連結会計期間において業績の実績を鑑み、ダイレクトマーケティング事業の主力販路でありますTVショッピングにおいて、新商品として「コアラウンジ(フィットネスチェア)」「シェイポリン(座って跳んでエクササイズ)」「グイッス(腰楽ストレッチ座椅子)」「エルバランスソファ」を新たに放映開始いたしました。しかしながら前年のヒット商品である「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」、「エアークッション(自動で膨らむベッド)」の売上高には及ばずMR(売上高に占める広告宣伝費)が低下したことに加え、秋・冬のシーズン商品である「スピードヒート(温熱ベスト)」の拡販が9月後半から始まっているものの、秋らしさが感じられない暖かな日が続いていることから出足が予想を下回っております。売上高は前回予想の10,400百万円から8,670百万円になる見込みであります。

営業利益及び経常利益におきましても、前述のTVショッピングの売上不振に伴うMRの低下が大きく響き、放映費用等の広告宣伝費を売上総利益で吸収できない状況であることから、営業利益は前回予想の390百万円から△95百万円に、経常利益は380百万円から△84百万円になる見込みであります。

また、本資料に記載いたしました特別損失の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益は△171百万円になる見込みです。

②2022年5月期通期連結業績予想数値の修正(2021年6月1日～2022年5月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	22,000	880	870	550	70.15
今回修正(B)	18,360	437	464	220	28.06
増減額(B-A)	△3,640	△443	△406	△330	
増減率(%)	△16.5	△50.3	△46.7	△60.0	
(ご参考)前期実績 (2021年5月期)	20,754	705	730	321	42.60

(修正の理由)

通期の売上高は、ダイレクトマーケティング事業のTVショッピングにおいて、「スピードヒート(温熱ベスト)」の拡販が12月・1月と最盛期を迎えること、新商品として「VOLZAC(ミネラルステーション)」や「EcoCa(マイショッピングカート)」などのテスト販売で高い実績を残した商品などの展開がありますものの、上期での減少分をカバーするまでには至らず、業績予想を修正するものであります。

なお、セールスマーケティング事業及びITソリューション事業は、ほぼ計画通りに推移する見込みであります

※2021年7月13日に公表いたしました中期経営計画「IK Way To 2024」における2024年5月期の計画数値に変更はありません。

(注) 上記業績予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上